



第80号

●主な記事

支部・同期会・OB会だより
母校近況・寄贈図書

令和3年12月24日発行

一般社団法人 長野高等学校金鷄会

事務局 ☎(026)235-3822

発行人 加藤 久雄

編集人 桃林 聖一

URL

<http://www.kinshi.org>

E-Mail

dousoukai@kinshi.org



ご挨拶 11月10日長野市長退任にあたり

同窓会長 加藤久雄（高13回）

全国の同窓生の皆様にはコロナ禍においてもお元気にご活躍のこととお慶び申し上げます。長野高校同窓会では、ここ2年にわたり同窓会総会も開かれないう状況で残念な思いをしております。また、各同期会なども中止となっている中、東京や大阪の支部などではZoomなどを用い工夫して会合を開いていると聞いております。熱心な活動に心より感謝申し上げます。

さて私、この11月10日をもって長野市長を2期8年の任期を終え退任しました。思えば、平成19年以来、私が長野商工会議所会頭として様々な場面で行政と関わる中、沸々と湧いてきた長野市への思いを、市長になって実行したいと意気に燃え、まさに、家族も友人もまた会社も商工会議所も、エー！と吹っ飛ばして、齢70にして市長に就任しました。そして、市長になった瞬間から「私の最大の趣味は長野市」となったのです。災害前は、土日祝日に一回でも公式行事に出席したのを一日と勘定すれば、365日のうち340日出勤したのです。しかし、一度も嫌だとか大変だとか、また疲れたと思ったことがないのです。心は宮沢賢治の「雨ニモマケズ」の心境で、東に、西に、南に、北に困っている人がいれば、すぐに飛んで行って手助けしてきました。本当は、月光仮面のように「疾風のように現れて、疾風のように去って行く」つもりでしたが、8年も掛かってしまいました。

私の8年間、あれを作ったこれを作ったと言う自慢はな

いですが、この低成長の中、市の様々な課題に対して、職員が市民に寄り添って考える行動が徹底し、今の人口減少・少子高齢化の中で、今後予想される経済・社会の長期的な低迷、更に気候変動による大災害の頻発、そしてこれからの出現してくるであろう恐ろしい感染症など、様々な課題やリスクに対して、先頭に立って対処できる職員が育ってきたことです。そして、私自身のことを申せば、私の人生で得てきたすべての力を思いっきり発揮できたことで、本当にやりがいと幸せを感じ、まさに思い残すことのない私の人生の最高のエポックであったと思います。

このように私は、経済界と行政、二つのトップを務めた貴重な経験をしました。行政を内側から見た数少ない経済人として、長野市と長野県、更には日本の発展のために、これからもデッカイ元気玉を吹き込んでいこうと思っています。人生100年、死ぬまでまだ四半世紀、それまでずっと支える側で、次の輝かしい人生に向かって力強く歩みたいと思います。

長野高校の現役生徒の皆さんもコロナに負けずに金鷄祭やクラスマッチなどの行事を工夫して盛り上げ、NGP（長野グローバルプロジェクト）の教育活動を通じて世界の様々なことに関心を深め、自ら学習活動を探究する意識を育んでくれていると聞いております。今後とも同窓会員の皆様には長野高校ならびに同窓会に多大なるご支援のほどお願い申し上げます。



弓道班 男子団体・個人、北信越大会・全国大会出場
ECC班 第16回全国高校生英語ディベート大会出場
囲碁・将棋班 男子個人、北信越大会出場
卓球班 女子個人、北信越大会出場



2年生は11月23日～26日に九州研修旅行を実施。立命館アジア太平洋大学（APU）では、世界各国からの国際学生と交流を図った。詳しくは8頁参照。



SGH・NGPでの実践を継続・深化・発展

学校長 宮本 隆

日頃より本校の活動にご理解とご支援をいただいておりますことに感謝申し上げます。さて、本校は平成26年度に本県で初めてSGH（スーパー・グローバル・ハイスクール）に指定されました。以来、「課題研究」・「探究」と「グローバル」・「国際交流」という2本の柱を中心として、他校に先駆けて教育課程（カリキュラム）に特徴をもたせ教育活動をバージョンアップしてまいりました。令和元年度からはSGH後継事業として「地域との協働による高等学校教育改革推進事業（グローバル型）」を文部科学省から指定していただきました。この指定により、「SDGs」や「地域課題」という新たな視点が加わったため、本校での事業名称を「NAGANO GLOCAL PROJECT」とし、通称NGPと称して年々改善を加えて教育活動を継続してまいりました。

これら事業には、従前の行事や修学旅行が上手に組み込まれています。1年次3月に40名程度が海外研修を行う「米国リーダー研修」の始まりは平成12年度（2000年度）にさかのぼります。第15代校長の高野忠夫先生が、総合教育の一環として海外研修の企画を金鶏会（同窓会）に打診したところ、当時、本校OBの小林秀明氏（高16回）が国連大使としてニューヨークに赴任されており、またニューヨーク金鶏会の復活もあり、金鶏会と本校が主催する形で『国連等アメリカ研修旅行』の事業が発足したものであります。平成13年度は

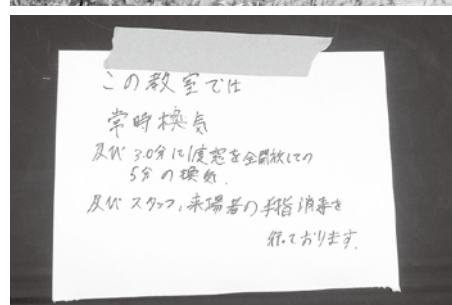
ニューヨーク貿易センタービルへのテロ事件、平成14年度はイラク戦争により実施できませんでしたが、その後は順調に回を重ね、平成26年度からは「米国リーダー研修」として位置づけられて今日に至っています。また2年次の秋に国際交流として台湾を訪問する「台湾研修旅行」の始まりは平成19年にさかのぼります。第17代校長小山壽一先生の時に1回だけですが台湾へ2学年で修学旅行を実施しています。これは第16代校長山口利幸先生が計画されたと伺っています。学年全体での海外修学旅行は県下の公立高校で多分最初であったと思われます。その実績もあり、SGHの一環として台湾研修旅行が位置付けられたわけです。

このように諸先輩の努力により実現した従前の教育活動を生かしながら深化・発展させてきたのが本校の教育活動であります。令和3年度末に8年間にわたる文部科学省指定事業は終了しますが、今後も、これまで培ってきたこれらの活動を維持・発展させていく所存です。さらなる「探究」活動の実践や、生徒の多様化した学びのニーズに応えるなど、まだまだ解決しなければならない課題は山積しています。

新型コロナウイルス感染症への対応が未だ継続していますが、母校の活躍をできるだけ皆様にお届けできますよう、学校長として全力で努力いたしますので、ご支援のほど、よろしくお願いいたします。



金 鶏 祭



学年幹事会開催

今年度の学年幹事会は、新型コロナウイルス感染の状況に鑑み、議決権行使書によるご出席と意見表明をお願いしました。開催当日は、理事4名が金鷄会館に集まり、送られてきた議決権行使書を確認し、全ての議案が承認されたことを確認しました。

期 日 令和3年6月26日(土)

場 所 金鷄会館

出席者 学年幹事 84名(議決権行使書)

◇議事

第1号議案 令和2年度事業報告・決算報告承認・監査報告

第2号議案 令和3年度事業計画・予算案承認

第3号議案 令和3・4年度理事・監事の選任

◇令和2年度決算・令和3年度予算

○収入の部

(単位:円)

科 目	令和2年度決算	令和3年度予算	備 考
正 会 員 会 費	11,851,000	12,600,000	
準 会 員 会 費	2,290,600	2,266,000	在校生
特 別 会 員 会 費	24,000	20,000	旧教職員
貸 室 料	1,687,385	1,800,000	
市 民 大 学	0	80,000	
太 陽 光 発 電 収 入	1,448,168	1,400,000	
寄 付 金	1,153,000	1,200,000	
創立120周年寄付金	8,279,688	0	
雑 収 入	117,795	90,100	利息・購買
貸付金返済収入	800,000	800,000	長野高校PTA
そ の 他	305	400	
前 期 繰 越 金	8,636,053	17,967,794	
合 計	36,287,994	38,224,294	

◇令和2年度事業報告・令和3年度事業計画

1. 会館維持運営事業
2. 旧制中学校資料収集事業
3. 高校生の国際理解涵養事業
4. 市民大学開催事業
5. 太陽光発電事業
6. 同窓会事業

(1)会報「日新鐘」の刊行

(2)支部・同期会・OB会への協力

(3)ゴルフコンペ (4)在校生への援助

(5)購買 (6)日新館事業

(7)結婚相談室

7. 総会、理事会、各種会議の開催

令和3年度の事業計画は令和2年度に準じる。

○支出の部

(単位:円)

科 目	令和2年度決算	令和3年度予算	備 考
会 館 運 営 事 業	5,633,004	5,481,000	給料・通信費・補修費等
旧制中学資料収集事業	0	30,000	
国際理解涵養事業	0	210,000	
市 民 大 学 事 業	0	129,000	
太 陽 光 発 電 事 業	285,452	286,000	
同 窓 会 事 業	7,912,967	8,375,000	会報発行費・教育奨励費等
管 理 費	4,288,634	5,051,000	人件費・光熱水費・火災保険等
退 職 金 積 立	100,143	100,000	
会館設備補修積立	100,000	100,000	
予 備 費	0	50,000	
次 期 繰 越 金	17,967,794	18,412,294	
合 計	36,287,994	38,224,294	

長野高校吹奏楽班OB・OG 第53回定期演奏会

日 時 令和4年3月26日(土)

13:30 開場/14:00 開演 入場無料

会 場 ホクト文化ホール 中ホール

曲 目 組曲「展覧会の絵」より/M.ムソルグスキー、
春の獵犬/A.リード ほか

新型コロナウイルスの影響により、上記の内容が変更になる場合がございます。最新情報につきましては長野高校吹奏楽班OB・OG会の公式HPをご確認くださいようお願いいたします。

OB・OG会公式サイト <https://nhb-obog.net/>

令和3年度同窓会費(3,000円)の ご送金をお願いいたします。

今年度の会費未納の方に振込用紙を同封いたしました。
ご協力をお願いいたします。

送金方法

①同封の振込用紙を使う

→ コンビニ、郵便局でお振込みできます。

②インターネットバンキングやATMによる振込

→ 振込人氏名に回期をご記入ください。

池田満寿夫ギャラリー

金鷄会館では池田満寿夫(高4回)の作品を50点
余り、常設展示しております。
ぜひ、ご覧にお越しください。
(平日14時~17時、それ以外の時間は予めご連絡ください。)



母 校 近 況

● 華道班の活動から…

班長 2年 佐藤なつみ

こんにちは、華道班です。現在は班員3名と、かなり少人数で活動しています。

華道班は、およそ月1回のペースでお稽古をして文化祭で作品を発表するとともに、入学式や卒業式、公開授業や中学生体験入学にあわせてお花をいける活動をしています。図書館前のスペースを借りての活動ですが、同窓生の皆さんをはじめ外部の方が目にするのは、金鶏祭や公開授業などで校内に展示している作品になるでしょうか。

外部の講師の先生をお招きして、基礎から教えていただいていますので、華道を始めたばかりの初心者でも、いろいろな種類の花材を使って、さまざまな生け方を楽しみながら活動しています。また、季節にあったお花を先生が用意してくださるので、知っているお花の種類も増えました。今年度からは、お花の名前を教えてもらい、使った花材のイラストをスケッチブックに描き、お花の特徴やエピソードなどを調べ



て、そのイラストに添えることを始めました。もし、来校されたときに飾られているお花を見かけたら、その横に掲示されているカードをご覧ください。お読みいただいて、お花に興味を持ったり、花の豆知識を増やしたりしていただければと思います。お花を生けることはもちろんですが、見ていただくだけでも、皆さんが少しでも穏やかな気分になっていただければうれしいです。

最後になりましたが、同窓会よりご支援をいただき、おかげさまで講師の先生からの指導をいただいて活動しています。ありがとうございます。この場をお借りして御礼を申し上げます。



● 生物室便り

理科教諭 小川裕己

長野高校生物教室の倉庫には、様々な生物の剥製、液浸標本、昆虫標本が保管されています。しかし、倉庫は適切な保管環境が整っておらず、

地震等によりすでに破損しているものも多く、貴重な資料が有効に活用されないまま、風化してしまうのではないかと危惧しています。

資料の中には特別天然記念物に指定されているトキの剥製もあり、今年は戸隠地質化石博物館の企画展に貸し出しました。さらにはタンチョウやワシなどの大型の剥製もあります。剥製は製作された時代によってはヒ素が使用されているということをお聞きし、安全面からも保管には課題があります。現在、これらの貴重な資料の所有と展示を博物館にお願いできないか、相談させていただいています。

つきましては、トキの剥製をはじめとする標本の管理や所有についてご意見等がございましたら、長野高等学校生物科小川までお寄せいただけると幸いです。



オオワシ



トキ

● 演劇班

演劇班は、このところ各学年2～4名が入班していて、新入生歓迎会や金鶏祭で上演するのが主な活動でした。練習は平日の始業前に行っているのですが、今年度前期は兼班している班員も複数いました。

そんな中、今年度顧問が交代になってある手違い(?)から、北信演劇連盟の合同発表会に参加させていただけることになりました。ところが、まず台本の上演許可で難航して台本を変更、つづいて金鶏祭明けからの短期決戦の練習計画が、コロナ禍の登校禁止で大幅変更、さらに本格的な舞台での上演が誰も初めてで、音響・照明・立ち位置の確認などひとつひとつ他校の先生方に教わってなど、多難な挑戦となってしまいました。

こう書くと新顧問が無理矢理やらせたかのように聞こえるかもしれませんが、決してそのようなことはありません。班員たちが話し合っただけで道をを選び、次々に現れる難題にも班長黒岩さんを先頭にひとりひとりが前向きに取り組んでいました。

コロナ禍での上演だったため、各校がリハーサルと上演時のみ会場に入場し、終了後は退場するという方式となりましたので、他校の上演

を直接観ることはできませんでしたし、保護者の方にも観てはいただけませんでした。しかし上演後に講評をいただいたり、他校の様子を映像で観ることもできるようになったりしたことで、今後につなげる材料を得ています。顧問はほとんど何の指導もできない素人ですが、時々練習の様子を窺うと、以前よりも発声練習が大きく聞こえてきているように感じます。

今回の本番が飯山市であったこともあり、保護者の方々にも多大なご支援をいただきました。様々な方々の協力の上に自分たちの舞台がある、こう感じながら発揮された熱意・意欲・頑張りが、今後の班活動はもちろん、彼らの人生にも大きな糧となったであろうことを、強く感じています。



● 軟式野球班

顧問 伊藤雅道

同窓会の皆様、こんにちは。この4月に着任し、軟式野球班の顧問を仰せつかりました伊藤と申します。日頃はお世話になり、大変ありがとうございます。

さて、本班は現在1・2年生12人で活動しています。また、3年生は既に引退しましたが、5月の春の大会まで7人が頑張ってくれていました。

軟式野球は県内にチームが少なく、そのため各大会では地区予選無しのいきなり県大会で、1つ勝てば県ベスト8、2つ勝てば県ベスト4、といった状況です。今年は3年生が主力だった春季大会で、県の準決勝、3位決定戦で敗れたものの「県ベスト4」の栄冠(?)を手にしました。

私事で恐縮ですが、私は今までの赴任校で約30年間ずっと硬式野球の顧問をして参りました。ご存じの通り硬式野球は、高校生の班活動の中でも周囲の注目度や活動量が大きく、生徒も顧問もそして生徒の保護者も他のことを犠牲にしても班活動に打ち込む…というスタイルが伝統的です(でした?)。一方、軟式野球班には、「硬式野球班ほどは頑張れないが野球は好きだ」「勉強時間もしっかり確保したい」という生徒が少なからず集い、硬式野球班とは違った



存在意義があると感じています。

今までは力一杯指導して、その代わり結果の善し悪しは全て顧問である自分の責任…という関わり方でしたが、今は「やり過ぎると求められているものと違って来る」という思いから、出しゃばった「指導」は控え、班員の生徒たちの自主性を尊重しています。練習時間から練習メニュー、スタメン、背番号、作戦や投手交代など全て生徒たちが自分たちで考えてやっています。私は頼まれてノックをしたり、硬式野球班のバスを借りて練習試合へ引率したりしていますが、自主性・自分たちで考えることなど、ある意味長野高校らしいチームになりつつあるのかも知れません。先輩方から引き継いだ、明るさや楽しさは大事にしながら、わずかずつでも進化していった欲しいと思います。今後ともお世話になりますが、よろしくお願いします。



● 硬式庭球班

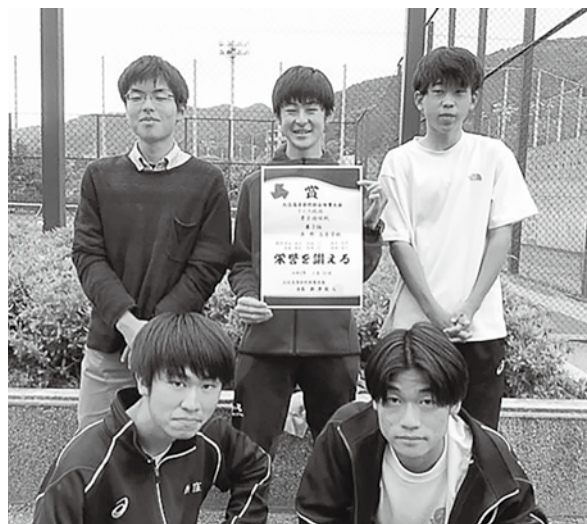
班長 3年 相場陽友

硬式庭球班は、今年度、男子3年生9名、2年生10名、1年生7名の計26名、女子3年生12名、2年生2名、1年生2名の計16名で活動を開始しました。

北信総体では、男子が団体4位、個人でも2年生の西窪君がブロック優勝をし、県総体への出場を果たしました。女子は惜しくも県総体への出場は逃しましたが、団体6位と健闘しました。

近年はコロナ禍にあり、日々の練習や練習試合等も制約を受ける時期が続きました。また、本校にテニスコートは4面あるのですが、日常的に練習できるのは男子1面、女子1面という状況であり、暗がりの中ボールを目を凝らしながら追う等、思うような活動ができないのが正直なところです。ですが、その中でも、効率よく練習しようと工夫をしながら、知恵を振り絞り、計画を練って前向きに活動し、真剣に日々ボールを打ち込んでいます。

3年生引退後の北信新人大会では、男子が団体2位という好成績を収めて県大会に出場し、県でもベスト8に進出するなど、様々な苦難を乗り越え、姨捨山を越え、練習の成果を存分に発揮できたと思います。女子は3年生の引退と



ともに人数が少なくなったこともあり、成績は残せませんでしたが、1年生も2年生もテニスを始めた頃の頃に比べ、格段に成長した姿を見せてくれました。

硬式庭球という競技は個人競技ではありますが、集団の力の大きさを感じています。一緒に練習し、競い合い、分かりあえる仲間の存在が本校の硬式庭球班の伝統であり、守るべき宝であり、一人一人の成長に欠かせないものだと感じています。特に、多くの大会の団体戦で、仲間のために戦うことで実力以上の相手校に勝て



た時の喜びは昨晚のことのように感じられます。今なお大会は無観客、応援なしといった厳しい状況は続いています。これからも仲間と切磋琢磨しながら更なる高みを目指していこうと思います。今後とも応援よろしくをお願いします。

● NGP活動報告 ～2年生の活動を中心に～

NGP推進室主任 海沼孝典

日頃より本校の教育活動へのご支援に感謝申し上げます。

今年度のNGP活動も本格化しています。1年生は11月29日にFW（フィールドワーク）を実施しました。企業・公官庁・大学等を直接へのインタビューを通し、自分たちの研究を深める機会となりました。これから2月の課題研究中間発表会に向けて準備を進めます。

2年生は10月～11月にかけ台湾とのオンライン交流を行いました。本校では、2年生が秋に実施する台湾研修旅行で、クラス別に7つの高校へ訪問する「7校交流」という形式で学校交流を続けてきました。感染拡大の影響で、2年連続で台湾への訪問はできませんでしたが、オンラインを活用しながら充実した交流を続けています。

11月23日～26日に2学年九州研修旅行を実施しました。その柱が立命館アジア太平洋大学（APU）との国際交流です。APUは在籍学生約5,500名のうち2,500名余が世界各国から集まった国際学生です。交流当日は本校2年生全員が参加し、生徒8名につきAPUの国際学生1～2名のグループで交流を行いました。台湾交流時に作成した映像を使いながら説明したり、国際学生との英語での会話を楽しみました。また、感染拡大により、オープンキャンパスに行くこ



APUでの国際学生を交えてのグループディスカッション



長崎の眼鏡橋、長崎市内はグループ見学をしました。

とが困難な中、模擬授業やキャンパス見学など、大学生活を体験する貴重な機会となりました。この研修に際しては、APUで客員教授を務められている牧野浩文様（高12回・元日本コカ・コーラ社取締役副社長）に大変お世話になりました。

研修旅行終了後は12月15日（水）の課題研究中間発表会に向けて、4月から続けてきた課題研究のまとめを行うなど、慌ただしい日々が続きます。

NGP事業を通して「新しい学びの場」を創造していきたいと思います。今後ともご支援・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



九州からフェリーに乗って、最後は大阪のUSJで楽しんできました。

支部・同期会・OB会だより

近畿長高金鷄会 総会・懇親会

10月30日(土)17時から令和3年総会・懇親会を開きました。梅田曾根崎警察近くの「ひなた」で行いました。会場13人、WEB3人計16人の参加となりました。WEB参加には、長野、京都等遠方からの参加者もあり、距離間は狭まります。いい時代になりました。

会場初参加の土屋佳英(高17回)さん。土屋さんは、毎月のWEB飲み会「長高サロン」には何回か参加されています。そのせいもあり、初参加とは思えず、気楽に話されていました。

総会は、はじめに1カ月程前にくも膜下出血で亡くなられた幹事の中澤雅博さん(高25回)を忍び、黙祷か

ら始まりました。中澤さんの奥さんが参加され、ここ1カ月の報告がなされました。中澤さんは長く広報幹事として長高会のために尽力され、今回の「金鷄」にも寄稿してもらいましたが図らずも、この原稿が彼の最後の寄稿となりました。

続いて昨年度の事業報告、会計報告、次年度の行事計画の説明があり、承認されました。そしてWEB参加者からの近況報告のあと、会場の面々とのやりとりでは質問なども出て、2時間は短いものとなりました。上は88歳から下は60歳まで、親子ほどの顔ぶれです。皆還暦過ぎのせいか健康の話題が多く、これから70、80歳となっていく若者には参考になること、大でした。

校歌を歌うわけにはいきませんので、北川栄里子さ

ん(高40回)から頂戴しました「長高100年史」を回し見、読み、思い出に浸り、当時に思いを馳せました。大分若返りました。100年史は会長預かりとし、総会、懇親会等で、お披露目することとしました。またの再会を誓い、お開きとなりました。

終了後は、名残を惜しみ二次会へ行く人、麻雀に流れる人、家路に向う人と分かれしました。夜風は秋の深まりを見せ、冷んやりとしていましたが、酔人達には心地よいものです。

(高23回 野池 徹)



近畿長高金鷄会



回期別対抗ゴルフ・コンペ

同窓会主催のゴルフコンペが9月26日(日)長野カントリークラブにおいて、86名参加のもと新ペリア方式で開催されました。成績は下記の通りです。

- 個人優勝 山下 健一(高37) グロス48 ネット34.8
- 個人2位 倉澤 裕(高26) グロス46 ネット35.2
- 個人3位 西澤 秀樹(高37) グロス45 ネット35.4
- 団体優勝 高37(山下健一・西澤秀樹・倉石博)
- 団体準優勝 高11(内山威・安藤光彦・清水博)
- 団体3位 高20(秦昇司・渡辺演夫・池田修平)
- 団体4位(高26)／団体5位(高19)／団体6位(高24)
- 団体7位(高25)／団体8位(高34)／団体9位(高27)
- 団体10位(高22)／団体11位(職員)／団体12位(高29)
- 団体13位(高23)



長野高等学校金鶏会結婚相談室



昨年度は一組、今年度は二組のカップルが同窓会結婚相談室を経てご成婚されました。おめでとうございます。そのなかの一人に体験報告を書いていただきました。

先日、結婚相談所でご紹介いただいた方と結婚することが決まったので、ご報告のために同窓会館を訪れました。その際に、折角のおめでたい話なので記事にしませんか、とお話をいただき、私でよかったら、とお返事をいたしました。

コロナ禍の婚活は困難を極めておりました。紹介してもらうにも飲み会はNG、同居者以外との会食NG、そもそも外出自体が基本自粛だし、はやりのマッチングアプリは身元が分からないものが多くなんだか怖いし…そんな中、日新鐘を見た母に、結婚相談所の登録を勧められた…のは実は私ではなく、母の職場の後輩さんでした（卒業生でなくても登録できるので）。私はその話を聞いて、便乗して(?)登録したのです。結婚相談所の存在自体は在学中から知ってはいた（当時テレビの取材で三四六さんがいらっしゃった）のですが、まさか自分が登録するとは、そちらでお見合いした方と結婚することになるとは、なんとも不思議なご縁だなあと感じております。

旧校舎の中央の階段から2階へ上がって、新校舎側に結婚相談所のお部屋があります。初訪問の前に1度お電話したのですが、優しい相談員さんが資料の準備について、持ち物について丁寧に教えてくださいました。結婚相談所が開くのは毎週木曜日。相談員さんのお昼休みや外出等もあるか

もなので、事前に訪問時間を打合せしておいたほうがいいかもしれません…といいつつ、2回目以降はほぼアポなしで通っていたのですが。相談員さんも長野高校の先輩なので、お話も楽しくて、月に1回希望休を出して遊び(?)に行っていました。数あるプロフィールの中から、相性のよさそうな方をご紹介いただき、登録してから半年ほどたって、相談員さん立会いのもとお見合いをさせていただきました。

紹介していただいた方は、長野高校の卒業生で、偶然ではありますが中学校も同じ、先輩でした。6年同じ環境で過ごしていることもあり、また職業も近い系統であったためお仕事事情もわかる…相談員さんの目利きがすばらしかったのですよね！すぐに打ち解けることができました。

周囲に結婚の報告をしていると、なれそめを聞かれることも多いのですが、私の母校に結婚相談所があって、という話をするとても驚かれます。同窓会なので商売色が全くなく、信頼できる卒業生が、しっかりとご紹介してくださるところが素晴らしいのです。結婚が決まった時も、身内のように祝福してくださって、とてもうれしく思いました。同じ長野高校生、目に見えない絆を感じた瞬間でした。お世話になりました。本当に、ありがとうございました。



結婚相談室のご案内

1. 相談日時 原則として木曜日のみ 10時から16時まで
2. 相談員 長野高校の同窓生である女性相談員が勤めております。
3. 会員数

延べ会員数	男性	516名	女性	783名
現 会員数	男性	20名	女性	28名 (令和3年11月現在)
延べ成婚数	32組	(昨年度1件、今年度2件成立しています)		
令和2年度お見合い件数	14件			

ご本人の来室が難しい場合、ご家族様が代わりに相談にお見えになっても結構です。

ご希望の方は、お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先 TEL 026-235-3822(平日14時～19時)

E-mail dousoukai@kinshi.org <http://www.kinshi.org>



市民大学事業

古代史講座

公開講座

主催：日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究(S))

「天皇家・公家文庫収蔵史料の高度利用化と日本目録学の進展―知の体系の構造伝来の解明」研究プロジェクト

協力：一般社団法人長野教育文化振興会

於 金鶏会館 大講義室

続・古典を読む―歴史と文学― 信濃国・志久見郷、市河家ゆかりの武家文書群「市河文書」を読み解く

講師 放送大学 教養学部 教授・東京大学名誉教授 近藤 成一 先生

第1回 8月5日(木)〔第298回講演〕

「木曾義仲の下文(くだしぶみ)」

第2回 8月6日(金)〔第299回講演〕

「承久の乱における北条義時の手紙」

第3回 8月26日(木)〔第300回講演〕

「信濃守護・北条重時の御教書(みぎょうしょ)」

第4回 8月27日(金)〔第301回講演〕

「建武の新政と市河氏」

続・古典を読む―歴史と文学―「いま明かされる古代」シリーズ47&中世

第1回 9月25日(土)〔第302回講演〕

放送大学 教養学部 教授・東京大学名誉教授 近藤 成一 先生

「モンゴル戦争と信濃武士 その2」―「蒙古襲来絵詞」を読み解く―

第2回 10月2日(土)〔第303回講演〕

早稲田大学 文学学術院 文学部 美術史コース 教授 山本 聡美 先生

「中世絵画に描かれた人と鬼の歴史」

―敵か味方か? 親切的な鬼と怖い鬼―

第3回 10月9日(土)〔第304回講演〕

早稲田大学 文学学術院 教授 川尻 秋生 先生

「信濃源氏の祖・平賀義信の実像に迫る!」

―新発見史料から読み解く鎌倉初期の東国―

第4回 10月16日(土)〔第305回講演〕

立命館大学 文学部 日本史研究学域 教授 本郷 真紹 先生

「最澄と平安仏教の成立」―伝教大使1200年大遠忌にあたり―

第5回 10月30日(土)〔第306回講演〕

東京大学大学院 人文社会系研究科 基礎文化研究専攻

美術史学講座 准教授 高岸 輝 先生

「国宝「日月山水図屏風」の謎に迫る」

―大画面絵画にみる中世人の世界観―



2021年(令和3年) 連続公開講座

三条西家本「除目書・同紙背文書」を読む

―「明治大学図書館所蔵三条西家本除目書」影印本の刊行を記念して―

主催：東京大学史料編纂所概算要求事項「天皇家・公家の「知」の体系としての文庫・宝蔵研究拠点創設」プロジェクト

日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究(S))

「天皇家・公家文庫収蔵史料の高度利用化と日本目録学の進展―知の体系の構造伝来の解明」研究プロジェクト

共催：日本学術振興会科学研究費補助金(若手研究)

「古代・中世の除目研究の基盤形成とその政治制度史的考察―三条西家の除目書を中心に―」研究プロジェクト

協力：一般社団法人 長野教育文化振興会

第1回 11月13日(土)〔第307回講演〕〔第308回講演〕

①明治大学 文学部 文芸学科 日本文学専攻 専任教授 牧野 淳司 先生

「三条西家本除目書の「再発見」の経緯と

古典文学研究者から見た除目」

―廷臣の官位昇進をめぐる唱導の紹介を兼ねて―

②信州大学 学術研究院 教育学系 社会科学教育グループ

助教 志村 佳名子 先生

「古代・中世の除目儀と除目書」

第2回 11月14日(日)〔第309回講演〕

東京大学 史料編纂所 古代史科部門 教授 田島 公 先生

「後三条天皇の事績と叙位・除目の儀式書『院御書』」

―明治大学図書館所蔵三条西家本「除秘鈔」「再発見」の意義―

第3回 11月20日(土)〔第310回講演〕

東京大学 史料編纂所 古代史科部門 教授 田島 公 先生

「三条西家本『除秘鈔』と

源俊明・源有仁・三条実房・二条教基・三条西公条」

―後三条天皇撰「院御書」の利用・伝来―

第4回 11月21日(日)〔第311回講演〕

信州大学 学術研究院 教育学系 社会科学教育グループ

助教 志村 佳名子 先生

「三条西家本『無外題春除目』とその伝来」

―九条良経撰「春除目抄」との関係を中心に―

第5回 11月27日(土)〔第312回講演〕

東京大学 史料編纂所 中世史科部門 教授 末柄 豊 先生

「三条西実隆・公条父子とその時代」―戦国時代の貴族のくらし―

第6回 11月28日(日)〔第313回講演〕

東京大学 史料編纂所 中世史科部門 教授 末柄 豊 先生

「三条西家本『除目書』紙背文書を読む」

―京都と地方の交流―



寄贈図書



医療・福祉の総合情報誌
JAPAN MEDICAL SOCIETY
2021年初夏号～12月号
野村元久氏(高10回)寄贈



国士舘大学経営論叢
第11巻 第1号
(通巻 第19号)
牧野浩文氏(高12回)寄贈



1964 Vier japanische Studenten
erkunden Westdeutschland
Tagebuch einer Forschungs-
Rundreise
著者 瀧沢敬三氏(高13回)



裁判官になるには
著者 飯島一孝氏
(高19回)



弁護士になるには
著者 飯島一孝氏
(高19回)



人生のスケッチブック
小山信二氏
(高22回)編集



句集 薄荷館
著者 中村千久(光宏)氏
(高22回)



信州に伝わる
宮城流秘伝書
著者 小林博隆氏(高25回)



増補信州和算資料目録
編者 小林博隆氏(高25回)



誰があなたを護るのか
—不安の時代の皇(すめらぎ)
新田 均氏(高29回)監修



眼疾患アトラスシリーズ
第5巻 眼と全身病アトラス
北澤孝孝氏(高38回)共著



経友
(東京大学経済学部同窓会誌)
No.207
北澤孝孝氏(高38回)共著

ご寄付をいただきました。

ラグビーボール25個

株式会社丸富士 代表取締役社長倉石匡啓氏(高58回・ラグビー班OB)から、八十二銀行の「地方創生・SDGs応援私募債」を利用してラグビーボールを寄贈していただきました。

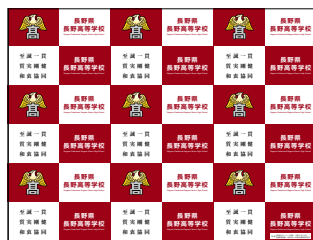
11月2日贈呈式

左から
ラグビー班顧問笠井先生・
奥脇先生、倉社社長、
宮本校長、八十二銀行小林様



インタビューボード

株式会社エーシーエ設計 代表取締役竜野泰一氏(高34回・現PTA会長)から、長野信用金庫の「地域みらい応援私募債」を利用して、インタビューボードを寄贈していただきました。本校ではNGPなどのオンライン交流の時などに利用させていただきます。



匿名の同窓生の方から80万円のご寄付をいただきました。

今年6月の『日新鐘』第79号の「金鶏太陽光120奨学金始まる」という記事で、高9回の定時制同窓生から10万円の寄付をいただいたという報告をしました。これをご覧になった同窓生が「匿名で銀行に80万円振り込みました。生徒のために使ってください」と電話をかけてきてくだ

さいました。お名前や回期をお伺いしても名乗られず、同窓生であるということだけでした。今年度以降の「金鶏太陽光120奨学金」に上乗せして卒業する生徒たちのために使わせていただきます。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

ありがとうございました。

事務局便り

- いつも同窓会費の納入にご協力いただきありがとうございます。会費3,000円の郵便局からのお振り込みにつきましては、ATMをご利用の場合は152円、窓口からは203円の払込手数料を同窓会が負担しております。ところが料金体系が変わり、2022年1月17日より現金で支払う場合は、新たに110円の加算料金を払込人(会員の皆様)にお支払いいただくようになるとのことです(口座から支払う場合は0円)。できるだけ口座からお振り込みいただくか、コンビニからのお振り込みをご利用ください。
- 『日新鐘』では、同窓生の皆様からの特別寄稿文や詩、短歌、俳句などの作品を募集しております。お気軽にメール等でお寄せください。